

江口恵津子&松本佳津トークセッション in香川 インテリアの力を熱く語り合う 窓装飾プランナーの重要性も訴求



2017年がはじまり、賀詞交歓会等が各地で開催されている頃の1月19日夜、昨年9月にオープンしたカリモク家具高松ショールームでJAFICA（日本フリーランスインテリアコーディネーター協会）とIICBP（国際ナショナルICビジネスプロジェクト）の主催、〔一社〕日本インテリアファブリックス協会他8団体後援で「江口恵津子&松本佳津トークセッション in香川」が行われました。



Facebookの告知だけだったにも関わらず関東から沖縄まで業界関係者、IC総勢80余名の申し込みがあり、瞬く間に募集定員に達したそうです。JAFICA江口会長と愛知淑徳大学教授の松本佳津さんの夢のようなコラボの実現に関心度の高さを感じます。

「目覚めよ、眠れる獅子たちよ！智慧あるICたちよ！機は熟した！」～時代をしなやかにかけめぐる珠玉のストーリー～と



題して行われたトークセッションは、松本さん特有の語り口に、切れ味のある江口会長の掛け合いに時間を忘れて引き込まれていきます。ご自身の経緯からIC活動の動向解説、特にインテリアの力について熱く語り、窓装飾の重要性と窓装飾プランナーの役割等を訴えます。

限られた時間では語りつくせなかったと語る江口会長ですが、お2人の情熱はしっかりと参加者に伝わりました。

そして食事をしながらのフリートークで参加者同士の交流はさらに深まります。

翌20日はJAFICA顧問の竹内康彦氏が会長を務めている「自然住宅」弾のサロンを見学。広

大な敷地に、自然素材によりライフスタイルをも提案されるモデルハウスを、昨日から引き続き30名以上が訪問しました。

昼食は讃岐うどんの老舗「山田屋」で、午後は国際家具デザイナーのジョージナカシマ記念館を訪問。ここでしか見られないジョージナカシマの建築工学に基づいた絶妙のバランスを持つ拘りの椅子や月桂樹の無垢板テーブル等を見学しました。

四国4県の窓装飾プランナー認定者は首都圏に比べると少数ではありますが、このイベントを通じて窓装飾のインテリア力を訴えたお2人のカリスマICに影響された窓装飾プランナーの誕生に期待します。